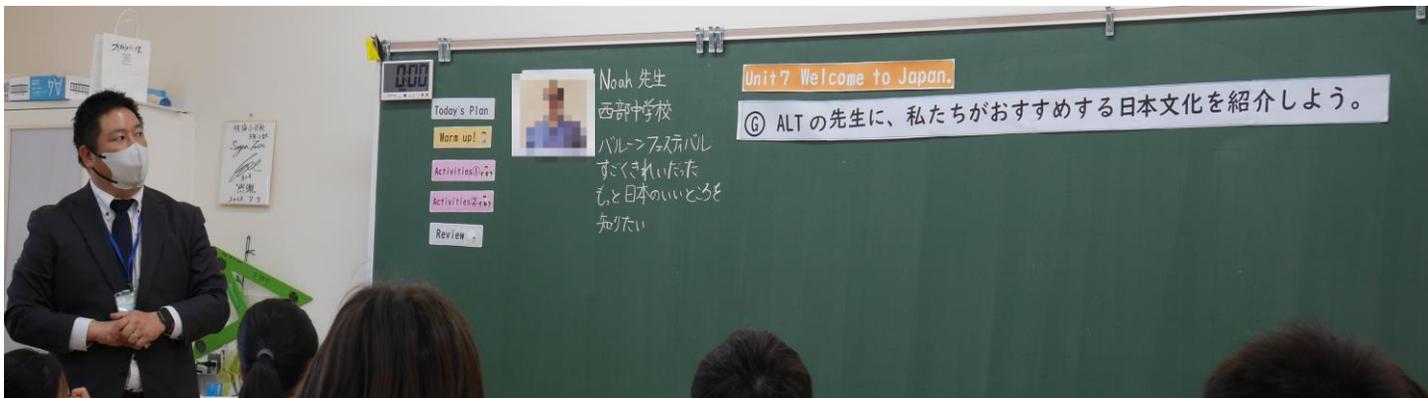


初任者研修及びスーパーティーチャーによる1人1台端末を活用した授業公開



鹿島市立明倫小学校 スーパーティーチャー 原 和義 教諭

単元名：Welcome to Japan～日本の四季や文化を紹介しよう～ 小学5年外国語科

ICT活用のポイント

- ・電子黒板でALTの先生からの動画を見ることで、単元全体の目標を共有できる。
- ・各児童のタブレットにスライドを配布することで、自分のペースで英語表現に慣れ親しむことができる。
- ・googleフォームを使うことで、児童の振り返りを瞬時に集約し全体把握ができる。

学習の流れ 全8時間（本時1／8）

導入

- ①アルファベットクイズに答え、大文字を書く練習をする。

※HFP(電子黒板)

- ②ALTの先生からの動画を見る。

電子黒板

- ③めあてをつかむ。

【めあて】

『ALTの先生に、私たちがおすすめする日本文化を紹介しよう。』

展開

- ④教師のおすすめの行事や食べ物などについて話を聞く。

Power Point (電子黒板)

- ⑤日本の行事や食べ物が、どの季節に関係するか答える。

googleスライド (1人1台端末)

- ⑥教科書の音声を聞いて、聞こえた順に番号を記入する。音声や映像から分かったこと、気付いたことを発表する。

まとめ

- ⑦本時の振り返りを行う。

googleフォーム
(1人1台端末)

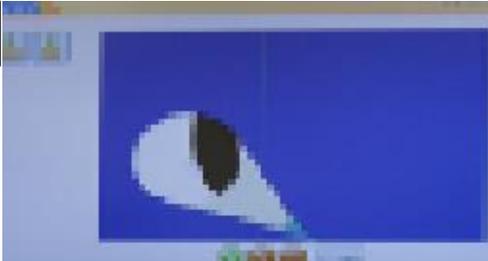
※HFPとは、Hi, Friends! Plusの略です。



←「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

①



①アルファベットクイズに答える。

【Hi, Friends! Plus 電子黒板】

児童は、どのアルファベットが隠れているかを考え、文字の特徴に気付くことができる。

②



②ALTの先生の動画を見る。【電子黒板】

児童の多くが進学する中学校のALTからの動画を視聴することで、言語活動を行う必然性が生まれ、教師と児童で単元ゴールを共有できる。

④

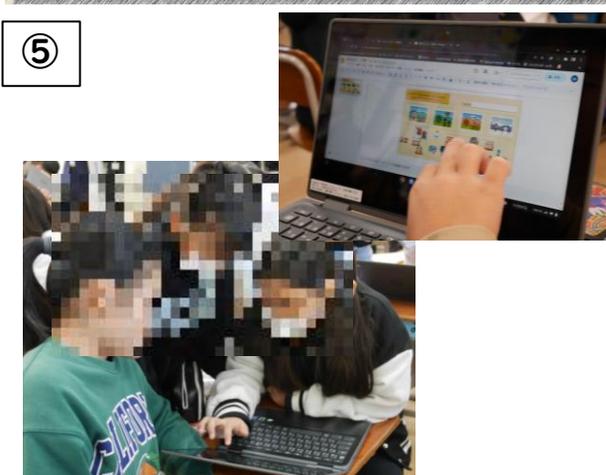


④教師のおすすめの行事や食べ物などについての話を聞く。

【プレゼンテーションソフト 電子黒板】

教師は写真や絵を提示しながら英語を話すことで、児童の英語の理解を促すことができる。

⑤

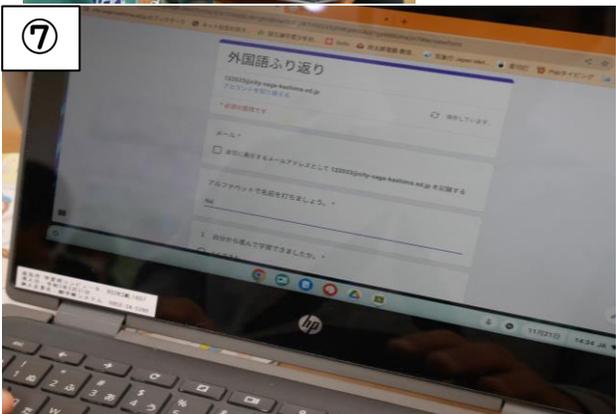


⑤日本の行事や食べ物が、どの季節に関係するか英語で答える。（各児童にスライドがデータで配布され、児童は各季節ごとに合う絵を、それぞれの季節の場所に動かす。）

【プレゼンテーションソフト 1人1台端末】

児童は自分のペースで粘り強く問題に取り組むことができる。分からないところは友達に尋ね、お互いに学び合うことができる。

⑦



⑦本時の振り返りを行う。

【アンケートソフト 1人1台端末】

教師は児童の振り返りを瞬時に集約したり、記述文の全体把握をしたりすることができる。

書くことが苦手な児童は、端末に手軽に入力することができる。また、友達の振り返りを見て、今後の自分の学びにつなげることもできる。

【授業参観者の感想より】

- ・四季の行事をグループ分けするときに1人1台端末を使用されていて、これは3年生でもできると思いました。ぜひ実践してみたいと思います。
- ・タイピングができなくてもパソコンは活用できること、ルールを決めておけば子どもがいないことをしないことなど本当にためになることが多く、大変参考になりました。